（別紙5）

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達支援事業所かいり園

公表年 令和 2月 27日

		チェックの項目	はい	いいえ	よくしている点	課題の改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援計画等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用者がくつろぐことの出来る工夫として、職員の配置や活動の場作りがあるか。	○			
	3	玄関を開けたときに、ここだけはほっとする雰囲気になっていて安心感があるか。また、事業所の設備は、障害の特性に応じ、バリアフリーなど安全性は高く、使用する器具が適切となっているか。	○			
	4	重度障害児、高齢児、医療的ケアのある児等の環境になっているか。また、ハード面の工夫に加えて、ソフト面での工夫はなされていると。	○			
	5	必要に応じて、ここでも使用する感覚の過敏を使用することの出来る環境になっていると。		○		・個室を利用することが出来ていない
業務改善	6	事業所運営を進めるのにあたり、PDCAサイクルの確保は大切な取り組みであり、広く職員が共有しているか。	○			
	7	研修機会は十分確保されており、研修を通じ職員の資質を向上させる仕組みがあり、その内容を定期的に見直ししているか。	○			
	8	職員の意見を聞き、意見を出しやすい環境を作っており、その内容を定期的に見直しされているか。	○		・パートさんも参加できる時間に会議を行っている	
	9	保護者に対する説明責任を行い、評価結果を保護者に公開されているか。		○		・外部評価を受けていないため、今後検討する
	10	職員の質の向上を図るために、研修を実施する機会を与え、向上に向けて研修を積極的に推進されているか。	○		・法人内の研修等施設内研修を行っている	
適切な支援の提供	11	個別の支援プログラムの作成、活用されているか。	○			
	12	様々なことに対してアセスメントを適切に行い、ここでの課題のニーズや問題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			
	13	児童発達支援計画を作成するのには、児童発達支援管理責任者だけでなく、ここでの各種の専門の職種の意見がとれて、ここでの課題の抽出を適切に作成されているか。	○			
	14	児童発達支援計画の進捗状況は適時見られ、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	ここでの活動内容の記録を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、様々な観察などを通じたインフォーマルなアセスメントを組み合わせることで確認しているか。				
	16	児童発達支援ガイドラインに、児童発達支援ガイドライン（児童発達支援の提供すべき支援のガイドライン案）、（厚労省版）、（国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター児童思春期精神科医療センター）、ここでの支援に必要な情報の収集に活用されているか。また上で、組織的な支援内容が記録されているか。	○			
	17	活動プログラムの作成をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないように工夫されているか。	○			
	19	ここでの活動において、個別活動と集団活動を適切な割合で児童発達支援計画を作成し、実施内容されているか。	○			
	20	支援開始時に保護者から子育ての悩みを聞き、その内容に対する取り組みの内容や目的などについて確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・毎月、相談を行っている	
	21	支援終了時には、児童発達支援計画を作成し、その内容について、保護者に説明を行い、保護者の意向を聞いた上で決定されているか。	○		・毎月、相談を行っている相談記録を残っている	
	22	日々の活動に関する記録をとり、子どもや保護者、関係者と共有・理解につとめているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を検討し、適切に対応しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス利用者支援専門相談員とも会議に、そのことでの状況をよく相談しながら進めているか。	○			
	25	地域の保育、医療（小児科や精神科医療機関）、療育機関、学校、教育委員会関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	他の利用者の保護者に対する配慮を行うなど、インクルージョンを考える機会の支援を行っているか。また、その際、保護者に認めることが難しい時期、特別支援学校（知的障害）への進学、学級編成等の相談対応と適切な対応を図っていると。	○		・毎日の連絡帳に記録に対応を行っている	
	27	就学時の移行支援については、小学校や特別支援学校（知的）との連携で、学校内容等の情報共有と相談対応を図っているか。	○			
	28	（28～29は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや保育所等訪問支援事業所等と連携を図り、地域全体の障害児支援に貢献する取組を行っているか。				
	29	様々な相談を通じた中で、相談者に専門的な専門機関から助言を受けたり、適時と適切時期に相談されているか。				
	30	（30は、センターのみ回答） 地域の保育所等をこどもの成長の中でも、子育て支援等の情報提供と相談されているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		・今後連携を図り、より多くの機会を設ける
	32	保育所の記録をこども園、幼稚園などから受け、地域の中で育ちながら、支援を継続する機会があるか。	○			
	33	保育のなかでの様子を保護者に伝え合い、ここでの活動内容や成長について共通理解を図っているか。	○			
	34	家族の受け方の相談を保護者から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や知識及び技術を習得する機会や情報提供を図っているか。		○		
保護者への子育て支援	35	療育相談、支援プログラム、相談内容等について事業計画を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画の作成や評価段階に、ここでの保護者の意向の聴取、ここでの相談や対応の内容の確認や見直しの結果を伝えて、ここでの活動の理解を深める機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援ガイド」をもとにお子さまの支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の説明を聞いているか。	○			
	38	支援開始に、保護者からの子育ての悩みや相談に対する相談に応じ、適切な助言や支援を行っているか。	○			
	39	父母の会や会議を支援することで、保護者会議を開催する事により、保護者同士で交流する機会を設ける取り組を行っているか。また、チャレンジ目的で家族交流会を設けて、交流を図っているか。		○		・家族の集いイベントを開催する
医療的ケアの対応	40	こどもの保護者からの相談や相談を受けたについて、相談内容を聞きながらこどもの、ここでの保護者に説明し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しています。	○			
	41	家族の支援計画を作成することで、PDCAサイクルを実施することにより、法令遵守や倫理性、個人情報保護の観点からこどもの保護者に対して実施しているか。	○			
	42	個人情報の取扱いについて適切しているか。	○			
	43	障害があることでの保護者への悩みの共通の理解を深めたことの対策をしているか。	○			
	44	事業所内行事と地域社会に参加する事、地域に開かれた事業運営を行っているか。		○		・地域行事に参加できるようなイベントを設ける
非常時等の対応	45	事故発生マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染予防マニュアル等を整備し、職員全員に周知し、職員全員が共有することもしっかり、対応を適切に実施している。	○			
	46	災害時対計画（BCP）を策定することとともに、非常用品の確保に努め、定期的に訓練、周知を内容に関する訓練を行っているか。	○			
	47	事故に、保護者の説明、ていねいな説明ができることが保護者説明していっているか。	○			
	48	金銭トレーダーのようなことについて、保護者の負担等に配慮した対応がなされているか。	○			
	49	安全計画を作成し、安全確保に必要な取り組みを実施、その取り組み結果を踏まえ、事業管理ヒヤリはっとの安全確認が行われているか。	○			
	50	こどもの虐待防止に対して、事業所内の研修が開催されており、安全計画に基づく虐待防止について、実施されているか。	○			
	51	ハザードマップを事業所内で共有し、災害時に向けた対策について取り組んでいるか。	○			
	52	連絡網を作成することで、職員の緊急時連絡を確保する事、連絡方法に対しているか。	○			
	53	お知らせ掲示板などを活用し情報提供を行うことについて、組織的に対応し、ここでの保護者に事業所ニュースに掲載し、アンケートを取ること、児童発達支援計画に記載しているか。	○			